

町長日誌 9月号

8月の長雨や曇りの日が続き、残暑がなかったと感じた令和3年の夏。お米や野菜など日照不足が懸念されますが、先週の強風といわれた台風は進路や温帯低気圧に変わり、幸いに日南町では大雨や強風はほとんどなく、予報では今後秋晴れの日が続くことが予想され稲刈りが進むことでしょう。

9月20日は「敬老の日」。日南町内では、100歳以上が6人。白寿の方を加えると22人おられます。この方々は大正生まれの方で、青春時は戦争を経験し、苦しい生活を乗り越え、体を張って仕事を行い、日本の成長に寄与してこられました。また、大正・昭和・平成・令和という日本の4つの時代を生き抜いてこられ、今の豊かな日本の社会を築いてこられました。感謝し、これからも健康で長生きしていただきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染は、国内では緊急事態宣言が9月末まで延長されました。そんな中近日は、東京都・大阪府をはじめとして全国的に新規感染者数は減少傾向になりました。鳥取県内においても7月以降久しぶりの新規感染者0人を記録しましたが、医療提供体制や自宅療養者数などまだまだ状況注視することは多いと思います。減少傾向への背景のひとつとして新型コロナワクチン接種の拡大があると思います。市部においては職域の中に一般市民の接種希望者を募る体制も始まっており、9月から10月にかけてワクチン接種率は日に日に高まっていくことが期待でき、集団免疫が拡大していくことでしょう。そして、これからは緩和策の議論や3回目の接種、12歳以下の接種などの新たな課題に向き合っていくことになるでしょう。国や鳥取県と連携して、しっかりと前に進めていきます。

今、自民党総裁の話題が盛んです。そして、約2か月後に迫ってきた衆議院議員の選挙や来年行われる参議院議員選挙等国政選挙による国民の投票が執り行われます。最近の投票率は半数以下となりました。政治への関心を深め、政党や個人の公約などを確認し、投票を通して、未来の令和・日本を託す人や政党を選んでいきましょう。

今年も早いものであと3か月あまりとなりました。年末ごろには、希望としてはまず国内では法的な規制のない中での暮らしになることを願いたいと思います。

記 令和3年9月22日 日南町長 中村英明